

豊中千里ロータリークラブ 35 周年、おめでとうございます。

発足当時より、多岐に渉る社会奉仕活動に対し、心より敬服してやみません。

私ども大阪 YWCA 点字子ども図書室へも長きに渉り、変わらぬご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年より続く新型コロナウイルス感染拡大のため、活動場所が高齢者施設内にある点字子ども図書室も制約を受けての活動となっています。

昨年度 2020 年 4 月 7 日から 5 月 31 日まで 1 回目の緊急事態宣言が発令された折には、活動は全面的にストップしました。この時は、急な活動休止となったため、利用者に点字本の貸し出しができない旨を事前にお知らせすることができず、大変ご迷惑をおかけしました。活動を休止した直後には、借りたい本のリクエストや問い合わせの電話、メールが何本もあったそうです。常勤していた大阪 YWCA の職員が丁寧に対応してくださり、利用者のご理解をいただきました。

6 月、緊急事態宣言の解除を受け、中旬より 10 人くらいの少人数で活動を再開しました。利用者からのリクエストもすぐに来るようになりました。点字本は、書店ではほとんど販売されていませんので、緊急事態宣言中に貸し出しをできなかったことが残念であり、申し訳なく思いました。

7 月、8 月と次第に人数を増やしながら、年末まで活動しました。来年こそは通常の活動に戻れますようにとの願いも届かず、明けて 2021 年 1 月 13 日には、

2回目の緊急事態宣言が発令されました。2月末に解除されましたが、点字子ども図書室の活動は3月末まで休止としました。会員に高齢者が多いこと、電車やバスで遠くから来る人もいることを考慮しての決断でした。ただ、点字本の貸し出しは、施設側のご理解もあり、週1回木曜日のみ、継続していました。

活動休止中でも会員は家で点訳作業を続けています。会員が集まったの校正作業はできないので、それぞれが点訳したものを郵送でやり取りし、校正作業を進めています。また、教科書やドリルの点訳を担っている会員もいます。こちらは、新学期に間に合わせるべく、急ピッチの作業でした。

このように、全体で集まったの活動はできていませんが、会員それぞれができる範囲で、点訳から遠ざかることなく、継続しております。活動休止中に会員が完成させた点字本を新刊として、利用者の皆さんへお知らせできるよう準備中です。

今後も、この状況が収束し、通常の活動に戻れる日まで、知恵を出し合い、工夫して、活動を続けていけるよう、頑張っまいります。

大阪YWCA点字子ども図書室

副代表 竹内和子

2021年4月